

今年も

『湘南辻堂四季祭り』に

出展します！

日時:2025年6月22日(日)10:00~16:00

場所:シークロス公園(神台公園)



地域のみなさんとの交流をするために、当院は四季祭りに出展いたします。

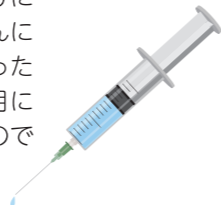
救急車の展示も行いますので、

お子さまからご年配の方まで、ぜひお気軽にお越しください。

担当者の ひとこと

マーケティング課

小さいころから注射が嫌いでした。幼稚園の頃は、白衣の天使が近づくたびに涙があふれ出していたことでしょうか。しかし、大人になり、さらにおじさんになり、そして五十肩に苦しむようになると、状況は一変しました。嫌いだったはずの注射が、痛みを和らげる救世主へと変わったのです。そう、なんと月に2回も注射を受けています。こんな風に、人生って意外な展開を見せるものですね。



救急外来は年中無休・24時間診療



湘南藤沢徳洲会病院
Shonan-Fujisawa Tokushukai Hospital

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL:0466-35-1177(代表)



発行 2025年4月1日 湘南藤沢徳洲会病院 マーケティング課

TAKE
FREE

MARINE

2025

4

PAPER Vol.119

特集

泌尿器科



表紙:臨床検査技師
(2階 採血室)

特集 泌尿器科

泌尿器科では、尿路・男性生殖器の悪性腫瘍(腎がん、膀胱がん、腎盂尿管がん、前立腺がん、精巣がん、陰茎がん)、排尿障害(前立腺肥大症、過活動膀胱、頻尿症、神経因性膀胱)、尿路・男性生殖器の感染症(膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、尿道炎、精巣上体炎)、尿路結石症などの疾患を対象に診療しています。

女性泌尿器疾患

骨盤臓器脱、尿失禁の治療も行っており、男性だけでなく女性のニーズも高い診療科です。当科を訪れる初診の患者さんの3~4割が女性です。



よしおか ひろき
吉岡 弘貴

2016年 日本大学卒

当科では、常勤医6名(専門医/指導医3名、専門医1名)、および非常勤医3名(専門医3名)が診療に当たっています。手術症例や難治症例などは、常勤医全員で話し合い、患者さんに最適な治療方針を検討できるようにしています。

その中でも手術に関して、手術支援ロボットda Vinciや内視鏡などの機器を使用し、安全で患者さんの負担が少ない治療を目指しています。特にがん治療においては、がんの制御と、機能温存に配慮した手術を行っています。

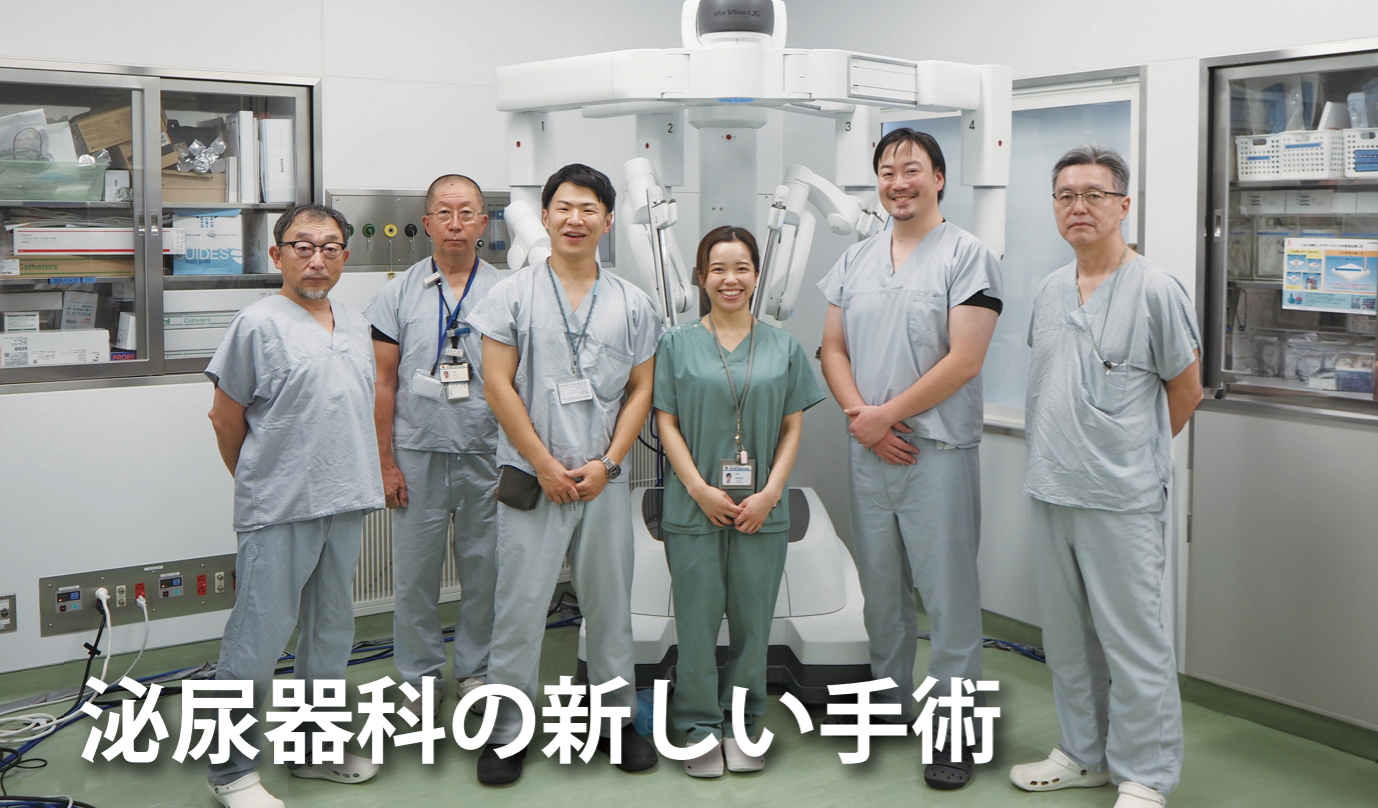
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
厚生労働省認定緩和ケア研修会修了医
ロボット(da Vinci)手術認定医

da Vinci Xi
SURGICAL SYSTEM

手術支援ロボット(da Vinci)

当院では、2011年に神奈川県で初めて手術支援ロボット「da Vinci」を導入し、多くの手術をロボット支援下で行っています。前立腺がん、腎がん、膀胱がん、腎盂尿管がんなどの悪性腫瘍や、骨盤臓器脱などの良性疾患にも適応があります。

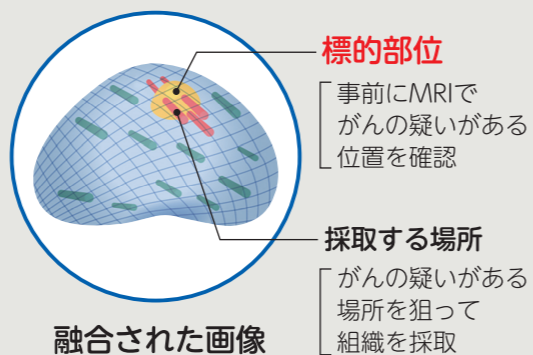
「da Vinci」は、高精細な3Dカメラと、人間の手首のように自由自在に動く鉗子を備えています。これにより、医師は体の内部を立体的に捉え、より正確で繊細な手術を行うことが可能です。従来の開腹手術のようにお腹に大きな傷をつけることなく、数か所の小さな穴で手術ができるため、身体への負担軽減や、早期の社会復帰が期待できます。



泌尿器科の新しい手術

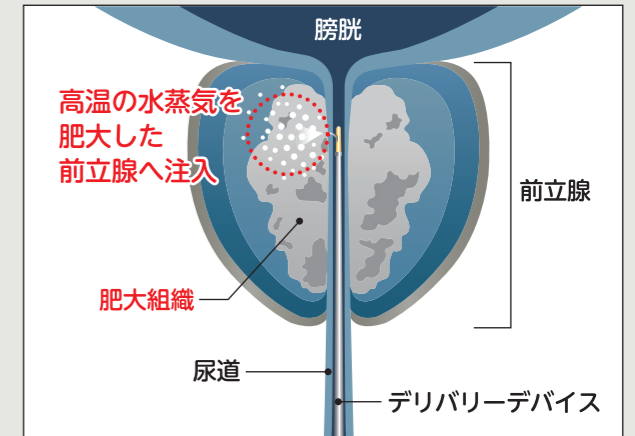
手術治療における技術革新が進み、今では選べる治療方法が増えています。その中で、患者さん一人ひとりに最適な治療方法を提案させていただきます。何かお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

前立腺がん ▶ MRI融合前立腺針生検(ターゲット生検)



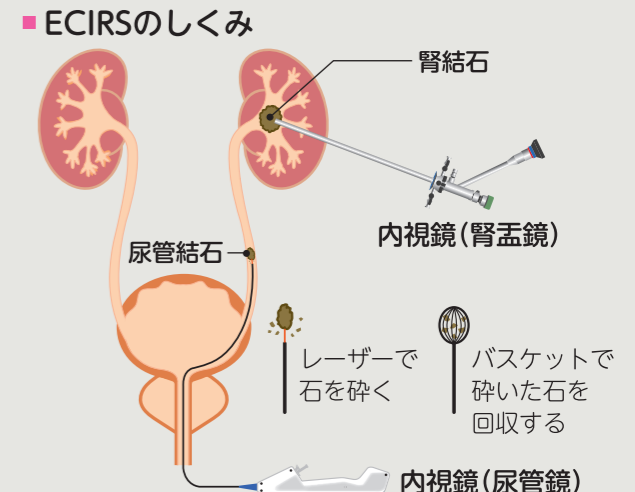
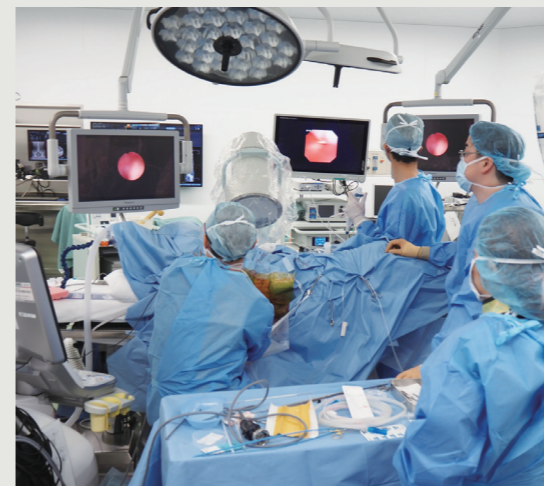
従来の生検方法では、がんが疑われる部位によっては、病変の採取が難しいことがありました。新しい生検方法では、MRI画像との連携により、生検中に標的部位のナビゲーションが可能となりました。診断精度の向上だけでなく、正確に局在を捉えることで、患者さんにとって過不足のない治療提供に繋がるものと期待しています。

前立腺肥大症 ▶ 経尿道的前立腺水蒸気治療(WAVE)



前立腺肥大症は、男性の排尿障害の主な原因です。当院ではレーザーによる前立腺核出術(HoLEP)を2009年から行っており、2022年には前立腺吊り上げ術(UroLift)、2023年には前立腺水蒸気治療(WAVE)を導入しました。WAVEは、尿道から内視鏡を入れて高温の水蒸気を前立腺に注入することで、肥大症による閉塞を緩和する治療法です。入院期間が1~2泊と短く、従来手術と比べて術後の尿失禁や性機能障害などのリスクが低いため、患者さんの負担が少ない治療です。

尿管結石症 ▶ 経皮的・尿道的腎尿管結石破砕術(ECIRS)



尿管結石症における内視鏡治療は、尿道から行う方法と、背中から行う方法があります。当院では、双方のアプローチを組み合わせた経皮的・尿道的腎尿管結石破砕術(ECIRS)という新しい治療法を2023年より開始しました。従来手術では治療が難しい巨大な結石や、何度も手術が必要となる多発結石において、より少ない治療回数で結石を除去できる治療です。

外来での 診察前検査

検査結果が出るまでに、密着！

再来受診の診察前、採血・採尿の予約がはいている患者さんも多いのではないのでしょうか？採血から診察まで、診察前検査の結果が出るまでの流れを検査室で密着してみました！

Start!



採血された血液や尿は、専用のエレベータで検査室へ運ばれます。

5 min



20 min

検査の前処理として遠心分離という操作を行い分析機毎に仕分けされます。

採血室では患者さんにお名前と生年月日をお聞きし本人確認をしています。

20 min ~ 60 min



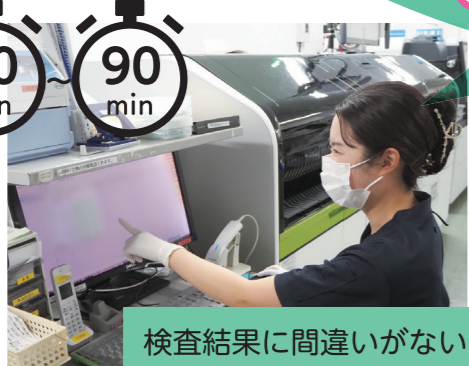
尿検査は顕微鏡を使って細胞を観察しています。



各分析機で検査を行います。検査時間は検査項目や項目数によって異なります。

Goal!

60 min ~ 90 min



検査結果に間違いがないか確認し、医師へ報告します。



※時間はだいたいの目安です



臨床検査技師



『臨床検査技師』という職業を耳にしたことはありますか？

臨床検査技師は心電図や血液検査など様々な検査を行い、医師の診断や治療を行うためのサポートをしています。様々な検査を通じて、患者さんと接する機会があります。



生理機能検査

心臓の動きを検査する心電図や、超音波で心臓やお腹の内部に異常がないか検査するエコー検査など、機械を使って患者さんの身体を直接検査します。心臓カテーテル検査の介助や聴力検査なども臨床検査技師が行っています。

検査項目：心電図、エコー、肺活量、脳波、聴力検査など

病理検査

手術で摘出された組織の病変部位を調べたり、内視鏡で組織を採取し病変を調べる組織検査や、子宮がん・肺がん検診などで細胞を採取し調べる検査が細胞診です。これらの検査は臨床検査技師が標本を作製し、顕微鏡で観察、最終診断は病理医が行います。

検査項目：組織検査、細胞診



血液・尿検査、輸血検査

血液や尿に含まれる成分の有無や量を分析機で検査します。

検査項目：AST、LDH、WBC、Hb、PT、APTTなど

輸血は血液の移植と考えられています。輸血を行う前に患者さんの血液と輸血血液が適合するか調べます。

検査項目：血液型、不規則抗体、交差適合試験



細菌検査

患者さんの血液や尿、痰などに細菌がないか調べます。菌がいる場合は、菌の種類を調べてどのお薬が効くのか検査をします。また、病院内で集団感染が起こらないよう管理するチームの仕事もしています。

検査項目：細菌培養、薬剤感受性検査

